

門真市英語教育活動事業派遣事業者選定委員会の会議記録

|                    |                                                                                          |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 議 の 名 称          | 門真市英語教育活動事業派遣事業者選定委員会                                                                    |
| 開 催 日 時            | 令和6年12月23日（月） 午前9時00分から午前11時5分まで                                                         |
| 開 催 場 所            | 門真中町ビル 会議室A・B                                                                            |
| 出 席 者              | 杉本委員長，増田副委員長，山本委員，井手委員，高山委員<br>【出席人数 5人／全5人中】<br>(事務局)<br>岡田教育センター長、小玉学校教育課副参事、黒崎学校教育課主査 |
| 議 題<br>(内 容)       | ◎委員長・副委員長の選出<br>◎会議の公開・非公開の決定<br>◎プレゼンテーション審査<br>◎総合評価<br>◎その他                           |
| 傍 聴 定 員            | －（非公開のため）                                                                                |
| 担 当 部 署<br>(事 務 局) | (担当課名) 教育部 学校教育課 教育センター<br>(電 話) 06-6902-6912 (直通)                                       |

【事務局】

まず、お手元の資料の確認をさせていただきます。

議事次第、

資料1：門真市英語教育活動事業派遣事業者選定委員会 委員名簿

資料2：門真市附属機関に関する条例の施行に関する門真市教育委員会規則（抜粋）

資料3：審議会等の会議の公開に関する指針

資料4：令和7年度門真市小中学校外国語指導助手（ALT）派遣事業に係るプロポーザル募集要領

資料5：令和7年度門真市小中学校外国語指導助手（ALT）派遣事業 仕様書

資料6：門真市英語教育活動事業派遣事業者選定委員会 審査基準

資料7：門真市英語教育活動事業派遣事業者選定委員会 プレゼンテーション審査予定表

お手元がない資料はございませんか。よろしいでしょうか。

それでは、ただいまから、令和7年度門真市小中学校外国語指導助手（ALT）派遣事業に係る門真市英語教育活動事業派遣事業者選定委員会を開会します。

< 委員の紹介 >

【事務局】

まず、初めに事務局より委員のみなさまをご紹介します。

お手元の「資料１：派遣事業者選定委員会 名簿」をご覧ください。

京都外国語大学 教授 杉本義美 委員です。

門真市立第二中学校 校長 増田広樹 委員です。

門真市立北巢本小学校 校長 山本健太郎 委員です。

門真市教育委員会事務局 教育部 総括参事 井手邦宏 委員です。

門真市教育委員会事務局 学校教育課 課長 高山拓也 委員です。

つづきまして、事務局の紹介をさせていただきます。

学校教育課参事 岡田和樹 でございます。

学校教育課副参事 小玉陽 でございます。

最後に私、学校教育課主査 黒崎智彰 でございます。

よろしくお願いいたします。

なお、本日、委員５人中５人が出席されておりますのでこの委員会が成立していることを報告いたします。

### ＜委員長・副委員長の選出＞

#### 【事務局】

それでは、まず、最初の案件、「委員長・副委員長の選出」に入りたいと思います。

お手元の「資料２ 門真市附属機関に関する条例の施行に関する門真市教育委員会規則（抜粋）」第４条の規定によりまして、委員長及び副委員長は互選により定めることとなっております。

委員のみなさまにより互選していただきたく存じます。

みなさま、いかがでしょうか。

#### 【委員】

推薦をさせていただきます。委員長には京都外国語大学教授でおられる杉本委員を、副委員長には門真市立第二中学校増田委員を推薦させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

#### 【事務局】

委員長に杉本委員、副委員長に増田委員の推薦をいただきましたが、委員のみなさま、いかがでしょうか。

#### 【全委員】

異議なし。

【事務局】

異議なしの声をいただきましたので、委員長は杉本委員に、副委員長は増田委員にお願いしたいと思います。

【事務局】

それでは、選定委員会委員会を代表しまして、委員長よりご挨拶をお願いいたします。

【委員長】

失礼します。

このたび委員長に指名していただきました杉本でございます。

本日は門真市英語教育に係る ALT 派遣事業者の選定ということで、子ども達にとって、英語教育の推進に向けて非常に大事な役割を果たす事業だと思います。

ぜひとも、よりよい事業者の選定になりますよう、みなさまのご意見をいただきながら進めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

それでは、この後の進行を、杉本委員長にお願いいたします。

<会議の公開・非公開について>

【委員長】

それでは、次の案件「会議の公開・非公開」について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

お手元の資料、「資料3 審議会等の会議の公開に関する指針」をご覧ください。

本市におきましては、指針の第3条において、審議会等の会議は公開するものとしております。

しかしながら、本選定委員会の会議につきましては、非公開とすることが適切と考えております。

理由は、委員のみなさまの率直な意見の交換や意思決定の中立性が不当にそこなわれるおそれがあること、また、応募者のアイデアなどが公開されることにより、参加事業者に不利益を及ぼすおそれがあるためです。

このことにつきまして、ご検討をお願いいたします。

なお、非公開とさせていただく場合、会議録につきましては、発言、主旨などを把握できるようにしたうえで、参加事業者に不利益等を及ぼさない形での全文筆記とさせていただき、ホームページにおいて公開させていただきたいと考えております。

みなさま、ご検討をよろしくお願いいたします。

【委員長】

説明は終わりました。

何かご質問、ご意見等はございませんでしょうか。

意見がないようでしたら、本選定委員会を非公開とし、会議録については事務局提案どおりでよろしいでしょうか。

#### 【全委員】

異議なし。

#### 【委員長】

ありがとうございます。

それでは、次の案件です。

令和7年度門真市小中学校外国語指導助手（ALT）派遣事業における事業者の選定について、審査を行います。

審査について、事務局から説明をお願いします。

#### 【事務局】

それでは、ご説明申し上げます。

資料4「令和7年度門真市小中学校外国語指導助手（ALT）派遣事業に係るプロポーザル募集要領」及び資料5「令和7年度門真市小中学校外国語指導助手（ALT）派遣事業 仕様書」に基づき、令和6年11月15日より令和7年度における門真市小中学校外国語指導助手（ALT）派遣事業者の募集を行い、12月9日に受付を締め切りました。

この度は、2者の応募があり、2者とも参加資格を満たしておりましたので、全応募者の提案資料を、事前に委員全員に配付させていただいております。

本日は、資料6「審査基準」に基づいて審査をお願いします。

それでは、審査の基準につきましてご説明いたします。

「資料6 審査基準」の「3 選定委員会」の（2）プレゼンテーション審査の項目に記載のとおり、プレゼンテーション審査をお願いいたします。

プレゼンテーション審査は、応募者のプレゼンと提案書類に基づくヒアリングと提案価格により審査を行います。

2頁の「4 審査項目及び配点」をご覧ください。

プレゼンテーション審査の審査項目並びに配点につきましては、「（1）プレゼンテーション審査」のとおりとし、各委員200点満点で採点していただき、委員のみなさまの総合点を委員数で割った点、つまり、平均の得点が応募者の得点となります。

なお、評価項目1の「現在の契約自治体数・実働ALT数」と評価項目15の「提案価格」の得点については、事前に算出することができますので、事務局で算出しております。

委員のみなさまには、「2～14」の評価項目の評価点について、各項目1～5点で点数のご記入をお願いいたします。

各審査項目の配点は10点～20点となりますので、委員のみなさまに採点していただき、した点数を素点とし、各項目の配点ごとに素点を事務局にて2倍～4倍に換算させていただきます。

きます。

換算後の点数が最も高かった者が契約候補者となります。

審査結果は、審査終了後に契約候補者のみを実名とし、それ以外は名前を伏せた形で、参加事業者全者の得点をホームページに公表いたします。

以上の事務局案について、ご検討をよろしくお願いいたします。

以上で、選定方法、審査基準の説明を終わります。

**【委員長】**

ありがとうございました。

審査につきまして、事務局が提案した審査基準に基づき審査を行うということでよろしいでしょうか。

また、記入方法について、何か事務局にご意見や、ご質問はありませんか。

**【全委員】**

異議なし。

**【委員長】**

プレゼンテーションの審査順や時間配分について、事務局より説明してください。

**【事務局】**

「資料7 審査予定表」をご覧ください。

今回の審査対象者は、2者です。申請順に、《A社》《B社》で、審査もこの順で行います。

各応募者のプレゼン時間は、20分間です。

時間になりましたら、プレゼンの途中でであっても止めさせていただきますので、ご了承ください。

なお、各事業者には、プレゼンテーションの持ち時間のうち、5分以内で本市での実践を想定したデモ授業を行っていただきます。

プレゼン後、10分程度の質疑応答の時間をとらせていただきますので、委員のみなさまから活発にご質問をお願いいたします。

なお、採点表の回収は全ての応募者のプレゼンテーション審査が終了した後に、回収いたします。

委員のみなさま、どうぞよろしくお願いいたします。

**【委員長】**

それでは、これからプレゼンテーション審査に移らせていただきますので、参加事業者を入室させてください。

《A社》

**【事務局】**

それでは、これよりプレゼンテーション審査を始めます。

はじめに 20 分以内でプレゼンテーションを行ってください。

20 分のうち、5 分以内で本市での実践を想定したデモ授業を実施してください。

プレゼン終了 3 分前と 1 分前に合図をいたします。

20 分後にタイマーが鳴りましたら、ただちにプレゼンテーションを終了してください。

その後、委員から質問を行いますので、簡潔明瞭にお答えください。

なお、審査で発言された内容は全て記録され、御社が派遣事業者として門真市小中学校外国語指導助手（ALT）派遣事業に係る門真市英語教育活動事業を行っていただくにあたり遵守すべき事項となりますので、ご承知おきください。

それでは、プレゼンテーションを始めてください。

#### A 社 プレゼンテーション

※プレゼンテーションについては、門真市情報公開条例第 6 条第 2 号の規定により不開示とする。

#### A 社 質疑応答

##### 【委員長】

それでは、質疑応答に移りたいと思います。

委員のみなさま方、質問ある方お願いします。

では、私から 2 つほど質問します。

1 点目、企画提案書の《非公開》下段と、最後にもおっしゃったんですけども、門真市の全国学力学習状況調査の結果も踏まえて、4 年前と比べた効果ということですが、今、実際の門真市の英語教育の課題としては、どういうふうに捉えられているのでしょうか。これをお聞きしたい。

それから、授業の観察についてですけども、《非公開》可能とおっしゃいましたが、これを《非公開》にさせていただくことは可能でしょうか。

この 2 点をお願いします。

##### 【A 社】

まず 1 点目の門真市の課題というところになりますが、弊社としてひとつ考えているのは、英語が好きだという子どもと、英語に対してちょっとネガティブな思いを持っている子どもたちがいて、その中で、英語を苦手というふうに感じている子どもたちがまだまだいるんじゃないかなというふうに思っております。

そういう子どもたちに対して、英語を少しでも好きになってもらう、興味・関心を持ってもらうっていうところが、今後、我々がご支援できるべきところかなというふうに思っておりますので、子どもたちの英語に苦手意識をもっている子どもたちに、授業内の中で、ALT がどのように支援していけるのか、また、授業外で、子どもたちにどれだけ、その英語に対して、少しでも、ALT の言葉が伝わったりであったりだとか、ALT の言ってることが

分かったっていうふうな成功体験を基に、授業の中で、少しでも、やってみようかという気持ちを育める、そんなところを弊社としては目指して、学力の底上げっていうところを目指していけたらなというふうに思っております。

また、授業観察に関しましては、《非公開》とさせていただいておりますが、こちらに関しては最低回数になりますので、弊社として授業観察を行いまして、もう少し指導が必要であるということであれば、こちらの改善が見られるまで何度も実施させていただいております。

また、《非公開》というのは、1学期か2学期を想定しておりますが、必要に応じて、3学期も見させていただくっていうところは可能でございます。

以上でございます。

#### 【委員長】

ありがとうございます。

お願いします。

#### 【委員】

私からも、2点聞かせてください。

まず1点目で、途中でALTに急な退職等があった場合は、きちっと対応していただけるということで安心しました。

とはいえ、やっぱり子どもへの対応をお願いするので、なるべくそういった急なALTの変更っていうのは無いに越したことはないと思っております。

《非公開》の1番下のところに、令和6年度の配置交代や途中退職者の数は全体の《非公開》ほどと記載されていますが、差し支えない範囲で、どのような理由で退職された方が傾向として多いのかっていうことと、あと、《非公開》っていうのを少ないと考えておられるのか、多いと考えておられるのか、こんなものであると考えておられるのか、認識を教えてください。

#### 【A社】

まず、この《非公開》というところに関しましては、全国、弊社で《非公開》のALTの派遣をさせていただいております、その中で《非公開》というところでございます。

これが多いか少ないかっていうところに関してですが、弊社としてはまだまだ多いなという認識でございますので、1人退職してしまうと、子どもたちや先生方に与える影響というのはすごく大きいものだと考えておりますので、これを少しでも減らすような取り組みを弊社としては行わせていただいております。

また、退職の理由についてですが、こちらに関してはさまざまでございます。

1番多い理由としては、《非公開》がよくあります。

次に、《非公開》発生したところは、こういうギャップかなというふうに思っております。

ギャップというのは、学校数というところで思ったより大変だったっていうところで、過去には《非公開》ALTを派遣させていただいて、すべての学校を見ていたというところで、思っていたより負担が大きかったっていう理由がありました。

あとは、その地域性とか、その学校や子どもたちのようすっていうところで、弊社として事前に伝えきれていなかった部分があったんじゃないかなというところで反省をしております。

ですので、もしご契約いただけるということであれば、《非公開》。

以上でございます。

#### 【委員】

わかりました。

あともう1点だけ教えてください。

《非公開》のところに、門真市を目指す授業「子ども主体の学び」と「探究的な学び」を実現できるというふうに書いていただいております。

これは、我々が今取り組んでいる授業の質の転換のことですので、よく本市のことをしっかりと調べていただいているなって嬉しく思いました。

それで、このような子ども主体の学び、短期的な学びを実現するために、どのようなことをしていただけるのかっていうのをもう少し具体的にお聞かせいただけますか。

#### 【A社】

まず、「子ども主体の学び」と「探究的な学び」の実現というところで、まず、やはりALTが子どもたちにできることと言いましては、先ほどのデモレッスンでも少しあったかなと思いますが、答えをそのまま与えることではなくて、子どもたちからしっかりと答えを引き出せる、そんな力のあるALTを配置させていただくことが大切だと考えております。

そして、そのようなALTを採用するための採用活動であったり、弊社の研修体制であったり、そこは弊社がしっかりと体制を整えて、門真市様にご提供すべきところかなと考えております。

そして、探究的な学びというところに関しましては、先ほども少しご提案させていただきましたが、門真市様について学ぶような研修、ALTも、門真市のことをしっかりと理解し、授業内に、学校においてもしっかりと学校の先生方とコミュニケーションをとって、同じ目線で、そういった先生方が目指す理想像をしっかりと普段のコミュニケーションなどからALTも理解し、また弊社のコーディネーターなども授業観察や、それこそ外国語研究会など参加させていただき、しっかりと同じ目線で弊社がたち、弊社のALTに対してしっかりと定期研修などで、今の先生方のニーズや、今の先生方が求められていることを、しっかりとALTに共有して、そんな弊社の運営体制、そしてALTが子どもたちに答えを引き出すような、そんなALTの働きかけ方が大切だと弊社は考えております。

以上でございます。

#### 【委員】

御社の方におかれましては、しっかりと研修体制が充実されているというのはプレゼンも含めて感じております。

指導方法であるとか、その語学力であるとか、そういったところは、それなりの基準を満



満たした方が派遣されるだろうというところは伝わったんです。

しかし、我々としましては、やっぱり子どもも多種多様で、いろんな背景を抱えている子どもたちがたくさんいる中で、我々も対応に苦慮しているとか、そういう中で、基本的には何かトラブルがあった時は、我々学校教員の方が対応するのはベースだと思いますが、いろいろなかわりをしていく中で、学級担当している教員から、ALTはどうかという声が、もし上がった場合にはどのような対応されるのでしょうか。

### 【A社】

ありがとうございます。

まずは、事実確認だったり、どういう状況があるのかを含めて、しっかりとヒアリングをさせていただきたいなと思っております。

それで、弊社としては、結論としては、現場のご要望になるべくお答えしたいなというところがありますので、重大な事案の場合には、《非公開》。

ただ、《非公開》っていうところは、やっぱり子どもたちにとっても、先生方にとっても影響が大きいものだというふうに先ほどお伝えしたいと思いますので、改善ができるものであれば改善をして、同じALTを配置できるっていうところが1番かと思っておりますので、まずはそこを目指させていただければと思っております。

しかし、重大な事案の場合であったり、改善の見込みがないと判断した場合には、しっかりと学校、教育委員会のご意見、ご要望等を伺った上で、《非公開》をとらせていただく場合がございます。

また、弊社では、万が一の場合に備えて通年者採用活動を行っておりますので、後任者の採用をすぐに対応させていただきます。

また、もし穴が空く場合には、代行の配置をさせていただいて、しっかりとその後のOJTや、現場研修なども含めてダブルで配置させていただいて、しっかりと引き継ぎを行いながら、入れ替えをさせていただければと思います。

以上でございます。

### 【委員】

3点、質問させていただきます。

《非公開》門真市の環境と言いますか、子どもたちの授業態度と言いますか、そこに苦慮されていたALTがおられて、それを把握されて、お話をしていきたいというふうな話がありました。

あれから5人にふえたとはいえ、自転車で移動したりですとか、1日に2カ所行ったりですとか、そういったものは来年度も想定されるかなと思っています。

合わせて、子どもの状況も、やはり英語となりますと、なかなか御社も把握されているような厳しい状況の小学校も、中学校もあると思います。

《非公開》あまりALTに、年度途中で代わっていただきたいくはないので、ALTにどう伝えて、どう続けるのか、具体的な策みたいなものがありますでしょうか。

これが、まず1点目です。

## 【A社】

ありがとうございます。

子どもたちの状況はさまざまだと思います。

弊社としてまず実施すべきことは、採用の段階において、例えばそういう学校でALTとして勤務した経験があるのかどうかとところも非常に重要なポイントかなと思っております。

面接の中で、そういう過去に経験があつてどのように採用されてきたとか、そういうエピソードを含めて、そのものが、そもそもそういうところの耐性があるのかなとか、臨機応変な、柔軟な対応ができるのかとところがまず見極めのポイントかなというふうに思っております。

とはいえ、実際に配置してからのギャップとところは、実際に配置してみないとわからない部分がございますので、その後のALTへのフォローっていうのが非常に重要になってくるかと思えます。

弊社で行っておりますのが、《非公開》、弊社からフォロー連絡を行わせていただいております。また、授業観察を実施した際には、必ず授業のフィードバックだけではなくて、学校での実際のような様子であったり、困りごとはないかであったりだとかっていうところを聞かせていただいております。

また、ALTだけではなくて学校の先生方にも、実際、このALTが、授業の様子だけではなくて、学校の様子とか、何か困っていそうな雰囲気はないかとか、そういうところもお伺いまして、電話だけじゃなくてアンケートでもヒアリングをさせていただいております。事前に退職の防止っていうところに努めております。

以上でございます。

## 【委員】

ありがとうございます。2つ目ですけども、《非公開》複数配置で授業をすることも可能ですってお話があったと思います。

具体的にどれぐらいの回数で、ALTを複数配置して、授業することが可能なのでしょうか。

## 【A社】

回数は、特に定めていませんが、よくニーズとして上がるのは、パフォーマンステストの時に、パフォーマンステストでは、例えば、子どもたち全員を、1時間に終わらせられるかっていうと、なかなか終わらせられなくて、次の授業に持ち越したりだとか、ひとつひとつの、その質の担保が難しいというところがありますので、そこで、ニーズとして上がるのが、ALTを2名であったり、3名を配置して、それぞれが、パフォーマンステストをすることで、その授業時間の短縮であったりだとか、質の担保っていうところを可能にしております。

ですので、学校から希望があれば、スケジュールの調整は必ず必要にはなってきますが、弊社としてはそういう対応も柔軟にさせていただくというようなご提案でございます。

【委員】

5名の中で複数配置はされるのでしょうか。

【A社】

そうです。

もしくは、学校勤務がその日にない場合もあるんですが、代行講師も含めて、配置させていただくことは可能でございます。

ただ、その際はスケジュールの関係もありますので、事前にご相談いただければ、その日にできるのかどうかってところも含めて対応をさせていただきます。

【委員】

ありがとうございます。

僕からは最後ですけど、《非公開》に、教員研修を実施しますと書いておられるんですけども、具体的にどのような 教員研修を今までされていたかを、教えていただけますか。

【A社】

ありがとうございます。

特に、いろいろな自治体で、全国でやらせていただいております、教員研修の回数というのも、他の他社さんも含めてもトップクラスだというふうに思っております。

その中で、1番ニーズとして上がってくるのが、小学校の先生方に対するALTとのチームティーチングであったりだとか、クラスルームイングリッシュってところがあるかなというふうに思っております。

アンケートでとらせていただくのですけれども、やはり1番評価が高いものが、先ほどさせていただいたような《非公開》です。

させていただいた上で、実際のチームティーチングのポイントであったりだとかっていうところを、例えば、《非公開》の中でこういうところをポイントとして意識していましたよってというようなところをお伝えして、で、実際に、その先生方、英語が例えばそんなに得意じゃないというふうに思っている小学校の先生方でも実際にできる。

実際のところそんなに難しくなくて、ポイントさえ掴めれば、チームティーチングというのは小学校の先生方でもできます。

そういうところを実践形式で研修させていただくってところが1番多くさせていただいて、学校からの実際に参加されたアンケートでも高い評価をいただいている部分かなと思いますが、ニーズに合わせて、小中連携であったり、中学校向け、専科の先生向けという研修もさせていただいておりますので、ぜひご相談いただければと思います。

以上でございます。

【委員】

私は、小学校で勤務してまして、毎日、ALTの先生が入るってことはないんです。

その中で、英語教材であったり、I C Tの教材も出されてると思うんですが、10 年ぐらい、A L Tの先生も入ってこられるような環境にはなってると思うのですが、そういうふうな教材を積極的に活用している先生をほぼ見ない。

他の市では、もしかしてうまく活用されてるのかもしれないですけど、その教材ってどのようなかたちで、どれぐらいのニーズがあって、どれぐらい活用できてるとかってわかりますか。

#### 【A社】

ご質問ありがとうございます。

弊社として、教材をいろいろ並べさせていただいておりますが、《非公開》っていうところから、閲覧や印刷が可能なものとなっております。

こちらは、先生方が 24 時間、いつでもウェブ上にありますので、閲覧や印刷できるものというふうになっておりまして、活用状況としては先生によりけりっていうところなのと、弊社として課題だなというふうに感じているのは、こういうものがありますよというふうに説明をしても、実際にそのログインするまでっていうところで、先生方は億劫に感じてしまっていて、見られていないってところがあるかなというふうに思います。

ただ、そういうところも含めて、弊社としてより使いやすくなるように来年度リニューアルを行わせていただいております。4 月に向けて、実際にご契約いただきましたら、何か事前の研修会であったり、担当者会みたいところがあれば、このマニュアルを配るだけではなくて、実際どれだけ便利なものなのかであったり、実際ログインにそんなに手間はかからないものですので、まずログインの仕方であったりとか、そういうところを実際に、なんなら実際に入ってみてもらってところまでやることで、すごく便利なものなんだと気づくことができれば、早速ご活用いただけるものなのではないかなというふうに感じておりますので、ぜひそんな機会をいただければと思っております。

以上でございます。

#### 【委員長】

それでは、これで審査を終了させていただきます。

審査結果につきましては、1 月上旬に通知いたします。

#### 《B社》

#### 【事務局】

それでは、これよりプレゼンテーション審査を始めます。

はじめに 20 分以内でプレゼンテーションを行ってください。

20 分のうち、5 分以内で本市での実践を想定したデモンストレーションを実施してください。

プレゼン終了 3 分前と 1 分前に合図をいたします。

20 分後にタイマーが鳴りましたら、ただちにプレゼンテーションを終了してください。

その後、委員から質問を行いますので、簡潔明瞭にお答えください。

なお、審査で発言された内容は全て記録され、御社が派遣事業者として門真市小中学校外国語指導助手（ALT）派遣事業に係る門真市英語教育活動事業を行っていただくにあたり遵守すべき事項となりますので、ご承知おきください。

それでは、プレゼンテーションを始めてください。

B社 プレゼンテーション

※プレゼンテーションについては、門真市情報公開条例第6条第2号の規定により不開示とする。

B社 質疑応答

【委員長】

プレゼンテーションありがとうございました。

それでは、質疑応答に移りたいと思います。

私の方から2点お願いします。

まず1点目ですが、これからの非常に大事な教育の中身で、個別と共同の学びということを最初におっしゃいましたが、具体的に、門真市で具体的にどういう提案ができますか。

特に、ALTを活用した具体的な学校ごとの授業スタイルの対応と書いてありますが、どういうことを具体的にされますか。

【B社】

私も実際に、特に、中学校の英語科の授業を見させていただいて、個別最適というところで、学校によっては自由進度学習というところまでやってらっしゃる学校さんもいらっしゃいました。

それで、どういうあり方であるべきなのか、これは正直、学校さんですとか先生方によってばらつきがあるものなのかなと思っております。

ですので、我々としては、それぞれの先生方としっかりとこの議論をした上で、門真市における型のようなものを作っていきたいと思っております。

共通して言えるのは、やはり個別になりますと、子どもたちそれぞれが違う学びと言いますか、課題をしていて、それでつまずいているところもバラバラになってくる。

そこを適切な支援をするためには、やはりALTがこの単元を通した過程を理解することで、英語科の先生が、この単元の最後に子どもたちがどういう姿になるのか、こういったところをしっかりと共通理解を取らせていただく、これが大切になってくると思っております。

【委員長】

今のところで、門真の子どもたちの共通の課題は、こういったところにつまずいるのか、それはどの程度を把握されていますか。

【B社】

私がいろんな先生方とお聞きする限りにはなりますが、これは学校によるというところはあるのですが、外国語の授業で、英語を使う、こう意義のようなところにも意欲が持てていないという子どもさんもしらっしゃれば、そもそも外国語や、英語の授業に向き合うことができない、授業を聞いていない生徒さんですとかを、私も実際には拝見したところがありました。

そうした教室の中でも、学びたい子と、なかなか難しい子がいる。

ここのギャップがある中でどういうふうに教えていくのか、そこは先生方からの、お悩みとしても多々聞いてまいりましたので、そういったところを課題として我々は支援したいなと思っております。

【委員長】

よくわかるのですが、もっと具体的に。

例えば、動機付けの部分です。

授業に参加しない、これは動機付けの部分で、どういうふうに動機付けしていくのかということと、あともう1つは、つまりいてる子どもたちに対してどういう支援をしていくかっていう、この2点が大きなポイントだと思うのですが、

そういう具体的な提案を、ぜひしていただきたいと思います。

【B社】

まず1つ目に、授業外でのかかわりをもっと盛んにできないものだろうかという思いもございまして、こちらのような事例集を作成しております。

やはり知っている大人だからこそ心を開いてくれることもあるかと考えております。

そして、ましてや、外国から来た知らない大人にすぐにハローと声をかけていくっていうのはなかなかハードルが高いのかと。

そういった意味で、まずは授業外から、そして授業の中では、先ほど、申しましたように、動画を作成します。

その動画の使用の仕方については、もしかしたら個々の子どもの能力、そして個性に応じた提案ができるのかと考えております。

例えば、動画の中に流れてきた英会話を真似できる子もいれば、動画の中で出てきた単語を聞くことで一生懸命な子どももいる。

そういった子どものレベルに合わせて、あなたはこれを頑張ってみよう、そういったタスクを与えることはどうかと今考えております。

【委員長】

今の件でもう1つ、質問ですが、個別最適な事業に活用できるのは習熟度別の動画をということをご提案されていますね。

それで、この辺りの具体的な例とかはどこまで、できているんでしょうか。

【B社】

この枠組みと言いますか、それはこれからのお話にはなります。

ただ、先日、実際に現場の先生方と私とヘッドティーチャーと一緒に話をする中で、こういったものがあつたらありがたいということをいただきましたので、実際にどういうものがあるのか、単元導入のためのものか、活動モデル動画があるのか、そういったところはしっかりと先生方とご相談をしていきながら作っていきたいと思っております。

【委員】

私から、《非公開》に記載していただいている部分についてお伺いいたします。

「主体的、対話的で深い学び」の実現ってというのは、本市全ての授業において実現しようとしているところなので、その辺りを触れていただいているのは非常に嬉しく感じました。

それで、一方で、なかなかこう、一方的な教え込みからの脱却っていうことは、結構難しい話かと思います。

特にALTの方は日本語を母国語としないので、子どもたちが今グループでどういう活動をして、ここに記載していただいているように、子どもたちの考えに対して意見やアドバイスを伝えて、考えがまとまるようにサポートするっていう部分については、日本語をすごくきちっと、子どもたちがどんな話しているのかとか、どういう学びに向かおうとしているのかっていうふうな、なんかしっかりとした把握がないと、そのようなサポートって難しいと思うんです。

具体的に、どのようにこの取り組みを実現しようとしていただいているのかっていうのを聞かせていただけますか。

【B社】

まずは、単元の学びというものをしっかりと事前にインプットさせていただく。

これは先生方との打ち合わせに我々が入らしていただいて、それを共有させていただく。

それでひとつは、ALT自身の日本語能力。

ALTには、子どもたちの前では絶対に日本語を使わないようには伝えているんですが、やはり日本語が理解できると、子どものつまずきであるとか、そういったところを拾えるというメリットは大きいものがありますので、弊社としては、できるだけ日本語の話せる講師を採用させていただくというところと、また、1番大事なところは人間性と指導力というところであり、社内での日本語の研修であるとか、そういったところも豊富に充実させておりますので、そういった形で対応させていただきたいと思っています。

一番重要なのは、単元の理解と考えております。

【委員】

何点かあるんですけど、まず《非公開》です。

大阪で採用されている自治体が今年度はふえていますけども、昨年度は《非公開》。

《非公開》

《非公開》

【B社】

《非公開》

【B社】

今、《非公開》からお伝えさせていただいた大きく2点でございます。

やはり、プレゼンテーションの目新しさと、あとは価格というところで、どうしても一旦、一時的に、他社様へ流れてしまったような自治体様がございます。

ただ、その中で、やはり再びやっぱり《非公開》へもどってきた、実際にご契約させていただいているところ、実際今お言葉としていただいているのは、やはりやっぱり《非公開》でないと、と。

弊社の強みとしては、ALTも、会社も、その市の教育にちゃんとこう向き合ってくれていて、ALTと一緒に子どもたちの状態に向き合ってくれている、そのための解決策をしっかりと提示し、そのお約束させていただくことを確実に実行する力があるというふうに思っており、頑張ってくださいというようなお声は、いただいておりますので、ここからまた実績に関しては、変わっていくと我々も確信をしながら、お客様からのお言葉もいただきながら、確信をしています。

【委員】

ありがとうございます。

あと、《非公開》にありますけども、ご提案ということで、多文化共生授業というので、《非公開》で《非公開》の事業を実施しておりますとあるんですが、もうちょっと詳しく教えていただけますか。

【B社】

私から、その学校に、海外にルーツのあるお子さんがいる場合は、その国のことについて知りたいですといったご相談を頂戴します。

そして、《非公開》主に私どものALTの出身国では、英語を使う国がメインではあるのですけれども、そういったご要望の際は、弊社の講師を派遣し、その日は文化大使として授業を担当いたします。

そして、《非公開》であったり、そういった国の場合は弊社の社外からも採用いたしまして、そういったものを派遣する、そういうふうにして対応しております。

子どもたちは主に小学校を対象にして実施をしております、小学生ですので、やはり概念としてあまりまだ追いつかないところがございます。

彼らの中で消化できる概念、例えば、海外の小学校ではどんなことをしているのか、日々の暮らし、どんな服、どんな行事があつて、どんな休日があるのか、そういったことを中心に45分でお話をさせていただいております。

なお、学校によっては、子どもが実際にする遊びを交流の中に入れてほしいといったところもございますので、小学校のひとつのクラスでできうることを私どもで調整し実施をしている、そういった具合でございます。



【委員】

派遣されてる5名の中だと、言われていますか。

【B社】

おそらく違う講師が担当することになるかと思います。

【B社】

年度当初に、メニュー表として、講師の一覧と、どんなテーマでお話ができるのかということ、教育委員会さんを通して学校様に配布をさせていただいて、あとはご要望のテーマに合わせて日程の調整をさせていただきます。

モンゴルですと、国語の時間で、低学年で、その三学期の時期、モンゴルの方で楽器をこう持ち、実際触ってもらったりだとか、そんなことも、少し外国語とは離れますけども、やはり身近な国際交流というところで、これはもう、弊社の事業との親和性というところで、我々もやっぱりご支援したいところでありますので、ここは全校、《非公開》は実施をさせていただくような形で、ご予算内で対応させていただきたいと考えております。

【委員長】

これは《非公開》、予算内でいけるのでしょうか。

【B社】

いけます。

大変ご好評いただいておりますし、子どもたちもいろんな国のことが知れて楽しかったといった声を寄せてくれています。

【B社】

こちらは会社として、事業というか利益を得るものではないという形で、我々はいろいろな貢献を支援したいと考えています。

【委員】

《非公開》のオンライン海外交流事業という活動で聞きたいんですけども、例えば、小学生の場合は、まだそんなに能力的には、スピーキング能力がないと思うのですが、具体的にどんな交流になるのでしょうか。

もし事例があれば教えてください。

【B社】

6年生の単元の中に、アイウォントゥービーアと、将来の何になりたいかっていう表現を使う活動があります。

私が担当したのはフィリピンの交流先のお子さんたちです。

彼らのところには、日本の子どもたちの英語のレベルについて事前に先に伝えておきました。

その表現を使って可能な限りやり取りをしてほしいという依頼をしております。

ただ、あちらのお子さんについても、将来の夢ということについては日本の子どもたちと共有できる心情ですので、交流としては大変良いものになりました。

【委員】

小学校は派遣回数がすごく少ないので、このように派遣回数外で来てもらえるものがあるとすごく嬉しいなっているのは思うんです。

派遣回数内で来てもらうならば具体的に何になるのですか。多分化共生事業とかオンライン授業ですか。

【B社】

そうですね。多文化共生事業やオンライン授業、あとは、《非公開》というのが対象です。

普段の配置ALTとはまた別のALTで、ちょっと特別な授業をする、複数のALTによる特別な授業をするものです。

【B社】

《非公開》をご提案するといった機会がございます。

【委員】

この窓口になるのは、教育委員会に相談かけるのか、本社の担当の方に相談かけるのか、どちらでしょうか。

【B社】

それは弊社としてはどちらでも対応ができますので、学校さんと教育委員会さんのご都合に沿って、我々は対応させていただきたいと思います。

あとは、先ほども少し申しましたが、8月中も弊社のALTは勤務日になっていますので、学校配置はないですけど、会社としての勤務日になっていますので、先生向けの、こう、英会話レッスンのような教員研修や、あとは、中学校での英検指導であるとか、そういったご要望があれば配置させていただくことができます。

【委員長】

それでは、これで審査を終了します。

審査結果につきましては、1月上旬に通知いたします。

＜プレゼンテーション審査 終了＞

意見交換

【委員長】

これより審査について御意見をいただきたいと思います。

何かご意見のある方はありませんでしょうか。

また、確認しておきたいことを含まして、ありませんでしょうか。

【委員】

感想ですけれども、どちらの事業者も しっかりとした提案で、組織的にもしっかりされているので、甲乙つけがたいかなというのが正直なところです。

ただ1点、デモレッスンの中で、《非公開》は、タブレットを使ったりだとか、今のこう、学校の授業の状況に合わせて何かこう提案しようっていうような、そういった意識は感じられました。

【委員】

デモンストレーションで《非公開》、その中で、そういうのもあるかなって思って見ている人もいるのかなと思うので、いるかなと思い見させてもらいました。

提案に時間がかかるっていうのもありますんで、どうかなと思っていたんですけど、そういう意味では僕自身が勉強させられたかなと思います。

【委員長】

デモ授業は5分しかないので、あまりパッパッパっていくから、私は子どもがついてけるか、ちょっと疑問はあるんですけど。

もうちょっと時間を与えてもいいのかなと。

ただ、業者が多かったらできないので、本当は、もっと子どもとのやりとりを、どう、ともにしていくのかなについて、知りたいと思うんです。

ただ、デモ授業をやっていただくことは、その会社の考え方なり、A L Tの考え方もわかる。

それはいいと思います。

私が考えたのは、もうひとつ、授業の中で、どこにかかわっていただくかということも非常に大事になっているので、 いろんな提案の中で、それをよりやろうとしている会社が見えたってことは非常に良かったなと思います。

【委員】

今年度、《非公開》お世話になっていますし、具体的で、目の前に子どもがいるような形の提案になってたのかなと思います。

《非公開》経験があるので、それを踏まえていましたけど、両者の差があったのかなと思います。

【委員】

どちらの会社もすごいしっかりした会社だなっている印象が続いているところもあるし、プレゼンも上手だなっているふうに思っています。

子どもが目の前にいる雰囲気を伝わる会社と、そうでない会社っていうか、プレゼンそのものは上手ですけど、子どもが見えるようなプレゼンしているなと思いました。

**【委員長】**

それでは、審査表の最終確認をお願いいたします。

事務局は審査表を回収し、集計を始めてください。

集計結果が出るまで、しばらくお待ちください。

|     |
|-----|
| 集 計 |
|-----|

**【委員長】**

それでは選定委員会を再開します。

まず、集計結果について事務局から報告をお願いします。

**【事務局】**

審査結果を報告いたします。上位から順番に申し上げます。

第1位「株式会社インタラック関西東海」176.34点です。

第2位《非公開》169.80点です。

以上です。

**< 総合評価 >**

**【委員長】**

それでは、総合評価に入ります。

何かご意見のある方はおられますか。

**【全委員】**

なし。

**【委員長】**

それでは、令和7年度門真市小中学校外国語指導助手（ALT）派遣事業に係る門真市英語教育事業派遣事業の優先交渉権者を「株式会社インタラック関西東海」とし、もし、この事業者が派遣事業に指定するのに著しく不適当な事由が生じた場合は、2位の《非公開》を派遣事業補候補者とします。

最後に、今後のことについて事務局より説明をお願いします。

**【事務局】**

それでは、今後についてご説明いたします。

まず、本日の総合評価の結果を、応募事業者に対して、書面により通知いたします。

併せて、市ホームページにて選定結果を公表いたします。

委員のみなさまにおかれましては、市ホームページに公表される1月上旬までは審査の結果について口外されませんようお願いいたします。

次に、会議録の公開については、派遣事業候補者が公開された後にしたいと考えておりますので、今後、御発言の箇所の確認をお願いいたします。

以上です。

**【委員長】**

事務局より、今後のことなどについて説明がありましたが、ご質問・ご質問はございませんか。

**【全委員】**

なし。

**【委員長】**

以上をもちまして、令和7年度門真市小中学校外国語指導助手（ALT）派遣事業に係る門真市英語教育事業派遣事業者選定委員会を閉会したいと思います。

どうもありがとうございました。

（了）